

みんなの健康ラジオ

『補聴器を使った耳鳴りの最新治療』

(2017年12月7日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

けいゆう病院

山田浩之

耳鳴りと難聴の関係

- 耳鳴り患者さんの9割に難聴がある
- その多くが年齢と関連した加齢性難聴
- 60歳を過ぎると3人に1人が耳鳴りを自覚
- 難聴の自覚が無い、もしくは耳鳴りのせいで聞こえないと思っている患者さんでも聴力検査をすると難聴があることに気付く
- 難聴の音と近い音色の耳鳴りがしている
- 難聴が改善すれば耳鳴りも良くなる

今までの耳鳴り治療

耳鳴りの最大の敵は「**静寂**」

- ・ 静かな所にいると耳鳴りの音しか聞こえない
- ・ いつもより大きく聞こえる、気になる、不眠

治療 → 環境整備 (静寂を回避+**豊富な音環境**を作る)

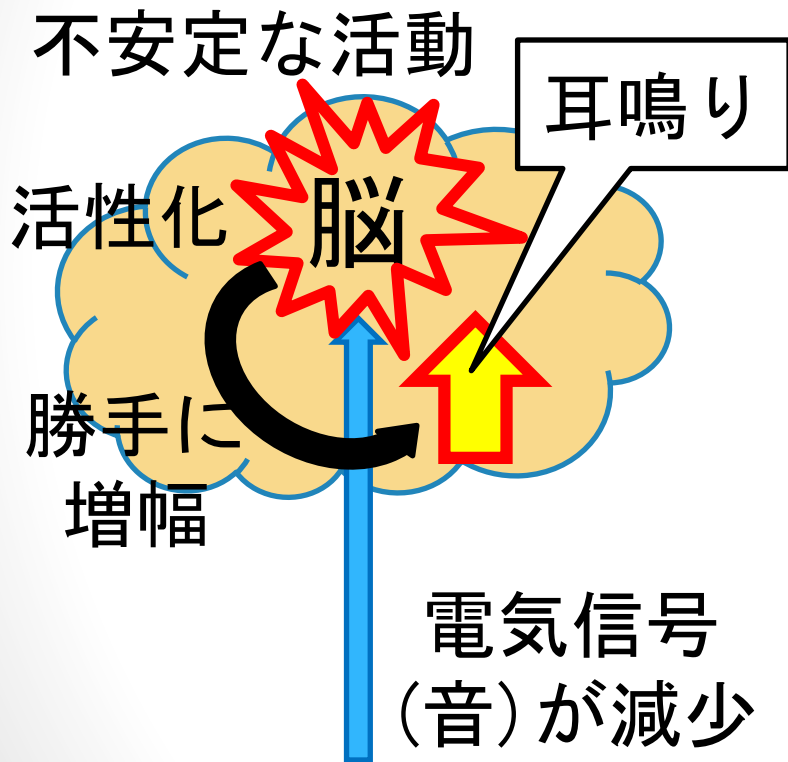
音を使った治療 (音響療法)

- └ ラジオ、テレビの音で静寂を回避
- └ 環境音CD (森のざわめき、川のせせらぎ)
- └ 特殊な機械の音 (ノイズ発生器)

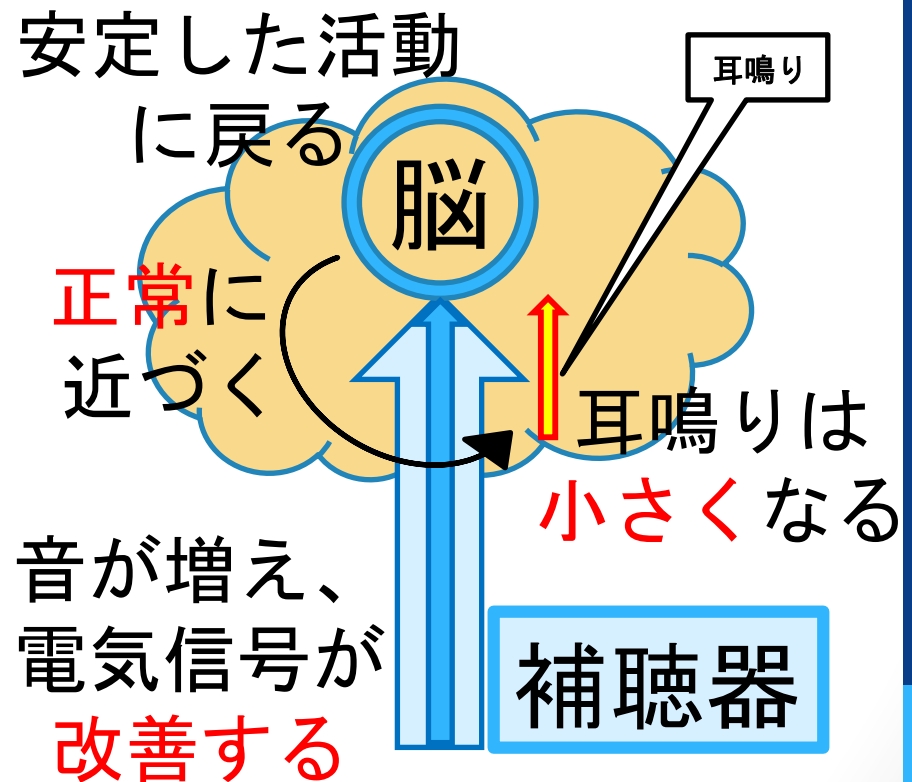
➡ 耳鳴りをごまかし、苦痛を軽減することが目的。
効果はまばら？で不十分？

どうして耳鳴りに補聴器？

難聴の脳

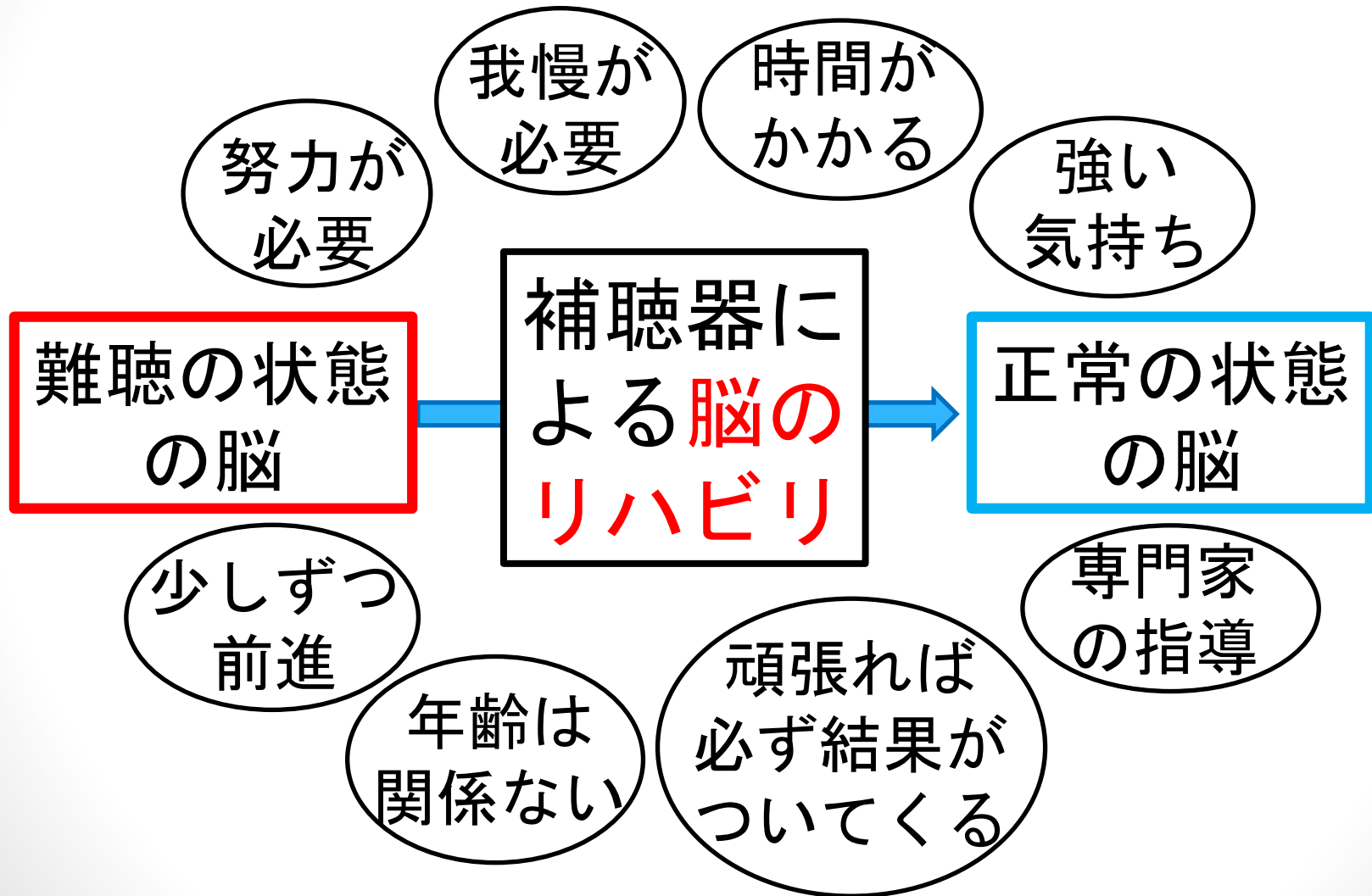


補聴器をすると



※脳の活動を正常な状態に戻すリハビリテーション

補聴器を使って脳を変える



私たちの施設での方法

- ✓ 補聴器を使った耳鳴りの最新治療
- ✓ 耳鼻科医師と言語聴覚士（聴覚リハビリを専門とした有資格者）が治療を担当
- ✓ 補聴器は弱めの設定から開始
- ✓ 毎週1回の診療と指導と補聴器の調整
- ✓ 3ヵ月間かけて少しずつ脳をリハビリ
- ✓ 3ヵ月のリハビリ後に効果を実感できたら補聴器を購入するかどうか決めていただく

この治療により9割以上の人が改善したとの報告もあり、現在耳鳴りを治す最も効果的な治療と考えられています。